

## 5.13 景 観

### 5.13. 1 現況調査

#### (1) 調査内容

事業計画地周辺における景観の状況を把握するため、現地調査を実施した。調査内容は、表 5-13-1 に示すとおりである。

調査範囲は、事業計画及び周辺地形等の状況から、事業計画地を中心とする半径約 3 km の範囲とした。また、主要眺望地点から事業計画地方向の景観写真撮影（一眼レフデジタルカメラ、28mm レンズを使用）を実施した。

表 5-13-1 調査内容

調査対象項目	調査対象範囲・地点	調査対象期間	調査方法
地域の景観特性	事業計画地周辺地域	適 宜	現地踏査
主要眺望地点からの景観の状況	主要眺望地点：7 地点	平成 31 年 2 月 1 日、 4 月 4～5 日 令和元年 11 月 12 日	現地調査 主要眺望地点から事業計画地方向の景観写真撮影を実施

#### (2) 調査結果

##### ① 地域景観の特性

「大阪市景観計画」（大阪市、平成 29 年 3 月変更）では、市域全体が景観計画区域に定められている。事業計画地周辺の大阪駅北側は、基本届出区域の中の都心景観形成区域に定められている。グランフロント大阪を中心に美しく先進性が感じられるまちなみが形成されており、大規模な業務施設、商業施設、宿泊施設等が多数立地した都市景観が形成されている。

##### ② 主要眺望地点からの景観の状況

各主要眺望地点からの景観の状況は表 5-13-2 に、主要眺望地点の位置は図 5-13-1 に示すとおりである。

なお、各主要眺望地点からの事業計画地方向の景観写真は図 5-13-2～11 に示すとおりである。

表 5-13-2 主要眺望地点からの景観の状況

区分	番号	地点名	方向	距離	状 況
近 景 域	1	阪急中津駅 神戸線ホーム	北北 西	0.5km	事業計画地北側近傍からの眺望。道路及び事業計画地周辺の建物が主な景観の構成要素であり、事業計画地左側にグランフロント大阪の建物が視認される。事業計画地方向には高層建築物がなく、事業計画地を北側から見通せる。
	2	うめきた広場	東	0.1km	事業計画地東側近傍からの眺望。道路、土地区画整理事業区域の仮囲い及び事業計画地周辺の建物が主な景観構成要素である。北方向の景観では、事業計画地右側にグランフロント大阪の建物が視認される。
	3	梅田ランプ西 交 差 点	南南 東	0.5km	事業計画地南側近傍からの眺望。道路、土地区画整理事業区域の仮囲い及び事業計画地周辺の建物が主な景観構成要素である。
	4	新梅田シティ 南 東	南西	0.1km	事業計画地西側近傍からの眺望。道路、線路及び事業計画地を含む土地区画整理事業区域及び事業計画地周辺の建物が主な景観構成要素である。北方向の景観では、事業計画地越しにグランフロント大阪の建物が視認される。
	5	梅田スカイビ ル 展 望 台	西	0.2km	事業計画地西側近傍、地上約 170mからの眺望。大阪の街並みを広く眺望することができる。北方向の景観では、直近にある事業計画地を見下ろすことはできないが、事業計画地越しに位置するグランフロント大阪の建物上部が視認される。南方向の景観では、事業計画地の一部が視認される。
中 景 域	6	淀川河川公園	北西	1.7km	事業計画地北西側の淀川を挟んだ対岸からの眺望。河川敷、河川及び梅田地区周辺の高層建築物が主な景観の構成要素である。
遠 景 域	7	大阪城天守閣	南東	3.5km	事業計画地南東の大阪城天守閣、地上約 50mからの眺望。事業計画地を含む大阪の市街地が一望でき、眼下に広がる大阪城公園の緑も景観構成要素として加わっている。

注：方向及び距離は、事業計画地中央部からの方向及び距離を示す。



図 5-13-1 主要眺望地点の位置

## 5.13. 2 施設の存在に伴う影響の予測・評価

### (1) 予測内容

施設の存在に伴う影響として、建築物の出現が事業計画地周辺の景観に及ぼす影響について、現地調査結果及び事業計画等を元に予測した。

予測内容は、表 5-13-3 に示すとおりである。

主要眺望地点からの眺望の変化の程度については、建築物等の出現による景観の変化を視覚的にとらえるために、現況調査において選定した主要眺望地点 7 地点からの景観について、事業計画に基づき事業完了後のフォトモンタージュを作成し、予測した。

表 5-13-3 予測内容

予測項目	予測地点	予測時点	予測方法
建築物等の出現による主要眺望地点からの眺望の変化の程度	主要眺望地点 ： 7 地点	施設完成後	フォトモンタージュ法により将来景観モンタージュを作成し予測

### (2) 予測結果

各主要眺望地点からの、現況の景観写真、施設完成後の景観予測図及び景観の変化の程度は、図 5-13-2～11 に示すとおりである。